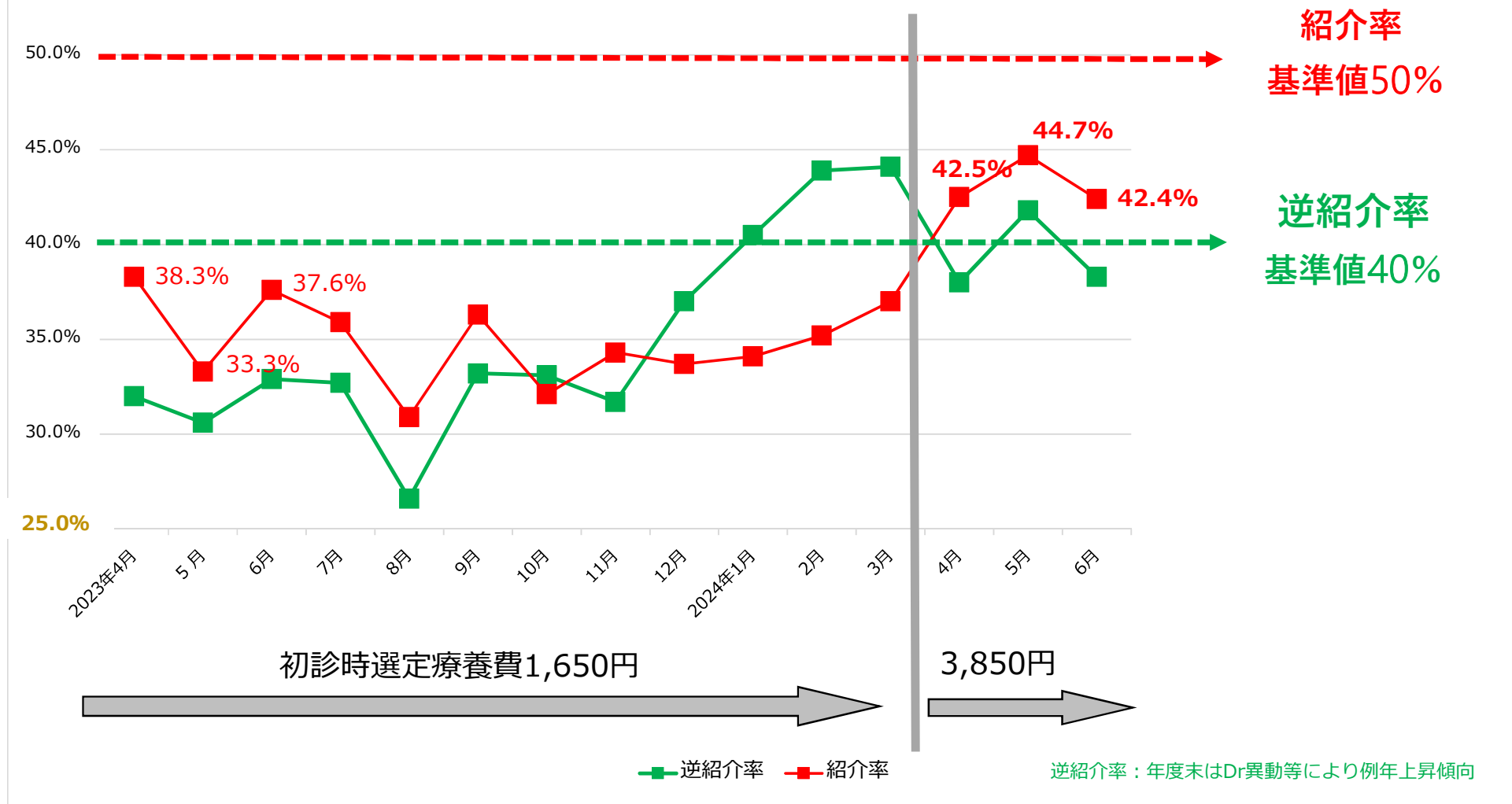


会議事項

- ① 高齢者救急搬送の現状と課題
- ② 紹介受診重点医療機関について
- ③ 地域包括医療病棟について
急性期一般入院料1（7対1）維持への対策と課題
- ④ 医師の働き方改革について

紹介率と逆紹介率



今年度,紹介率が40%台に上昇

しかし,紹介受診重点医療機関の紹介率基準値50%には届いていない

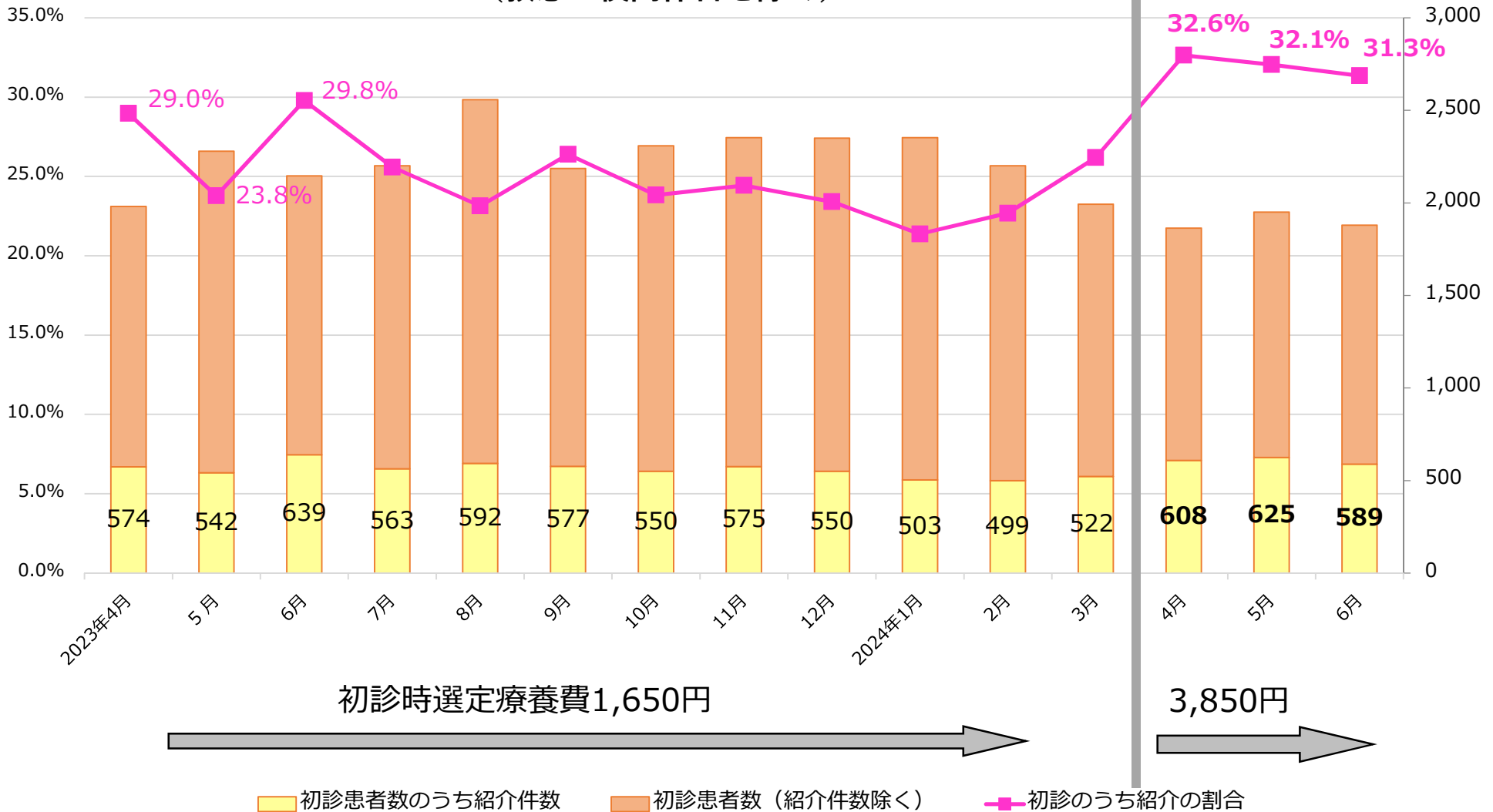
**【紹介受診重点医療機関になれないことによる損失が約5,000万円】
(入院診療加算)**

初診患者数と紹介件数の割合

(救急・夜間休日を除く)

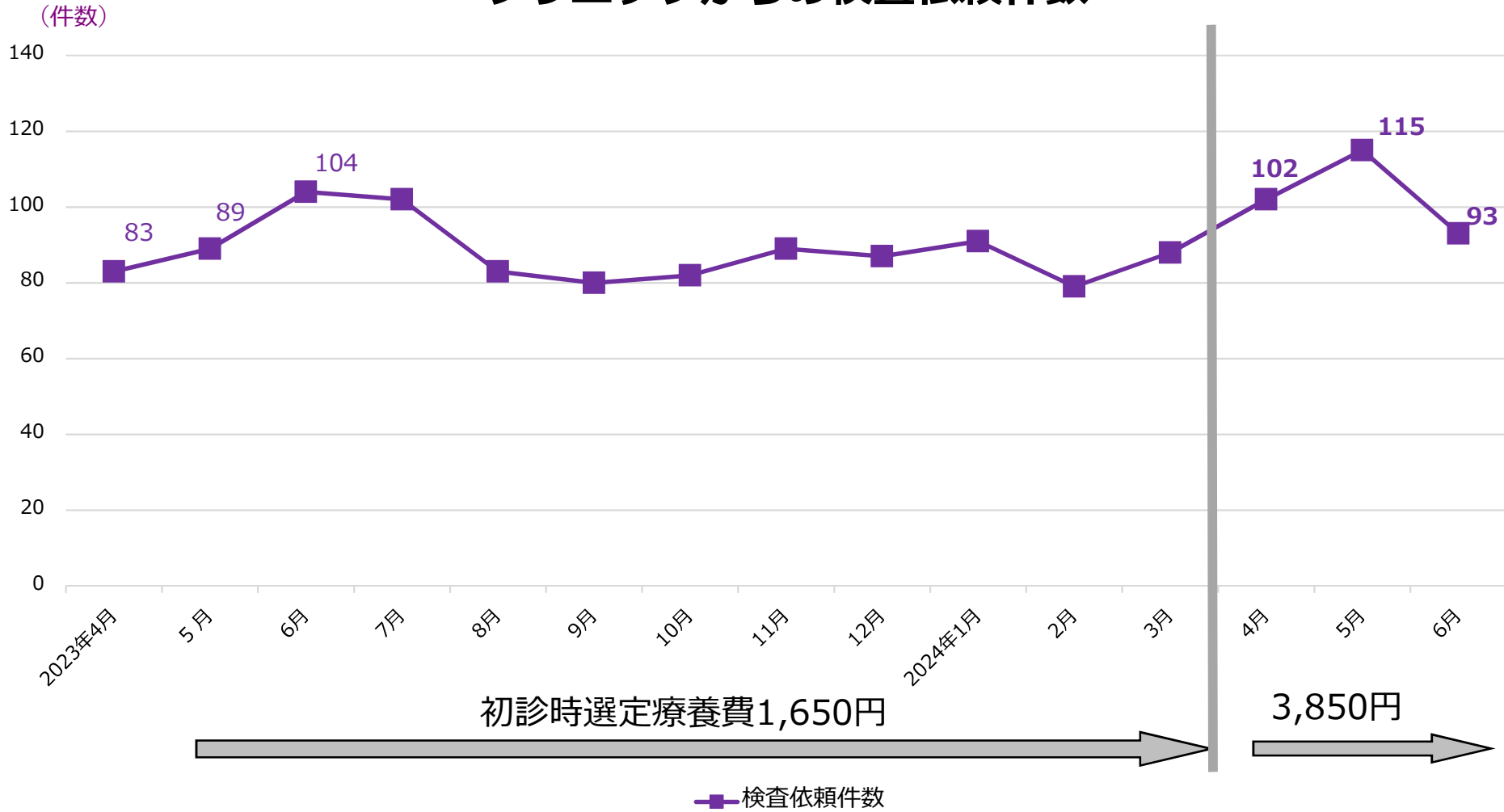
(初診のうち紹介の割合)

(初診患者数)



今年度、初診患者が減少傾向。一方で初診患者に占める紹介件数の割合が増加
 初診時選定療養の見直しが、患者さんの受診動向に変化をもたらしているか・・・

クリニックからの検査依頼件数



今年度、クリニックからの検査依頼件数が増加傾向
患者さんが当院に直接ではなく
まずは地域のクリニックを受診されていると推察される

紹介受診重点医療機関の基準値をクリアするためには・・・

【基準値：紹介率50%,逆紹介率40%】

現在

2024/4~6実績	
紹介率	43.2%
逆紹介率	39.3%

未達...



皮膚科を除いてみると...

2024/4~6実績	
紹介率	52.7%
逆紹介率	49.2%

基準値をクリア！ただ...

特に紹介率の未達が大きい

紹介状なしの初診患者(月平均1,304人)

皮膚科の影響が大きい
(皮膚科のみの紹介率7% 逆紹介率1.7%)

**皮膚科の外来患者数は
1カ月1,000人を超える
(紹介患者は6%未満)**

**基準値のクリアを優先した場合
現実的にこの患者さんは
どうなってしまうのか...**